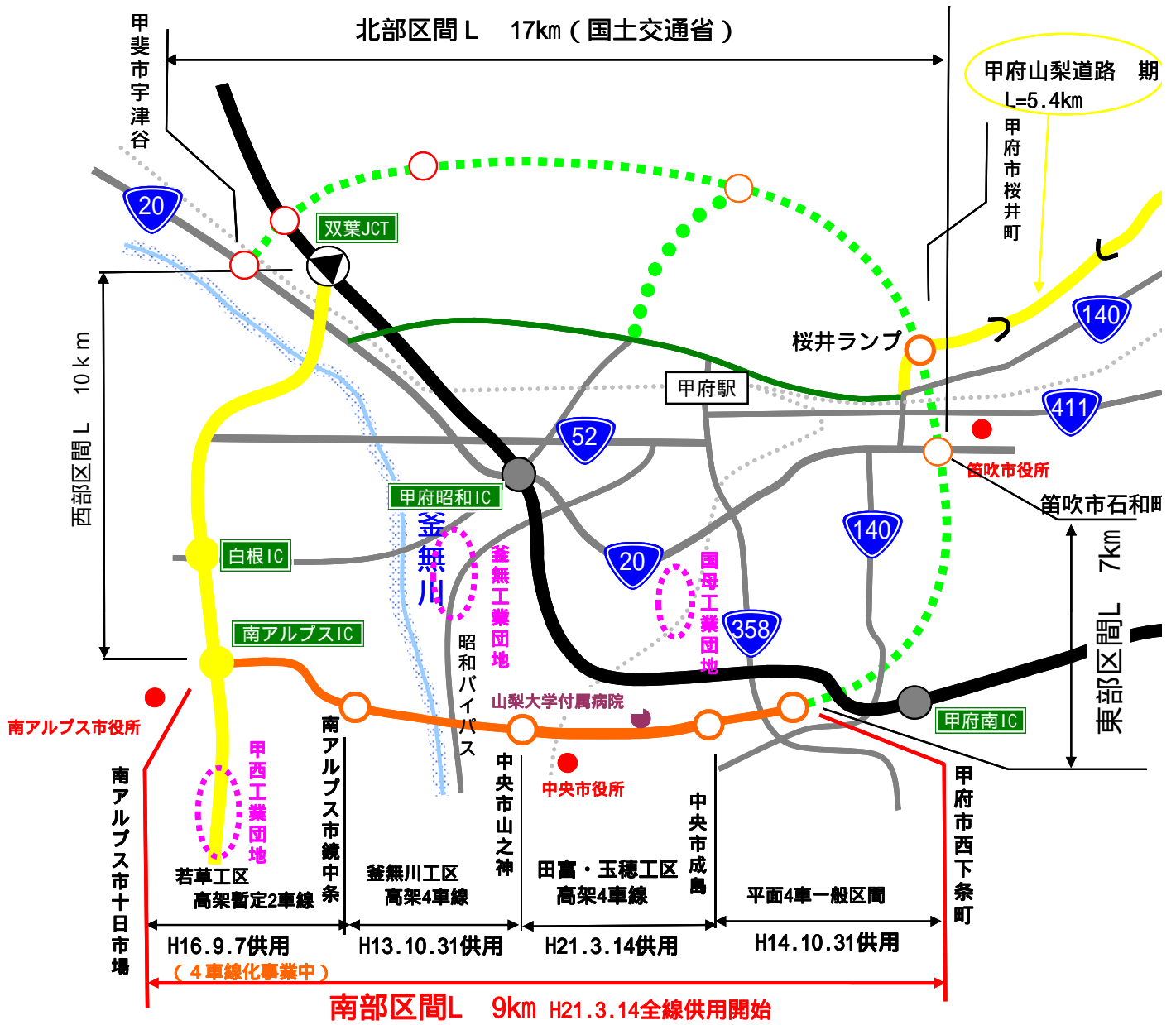


新山梨環状道路 南部区間

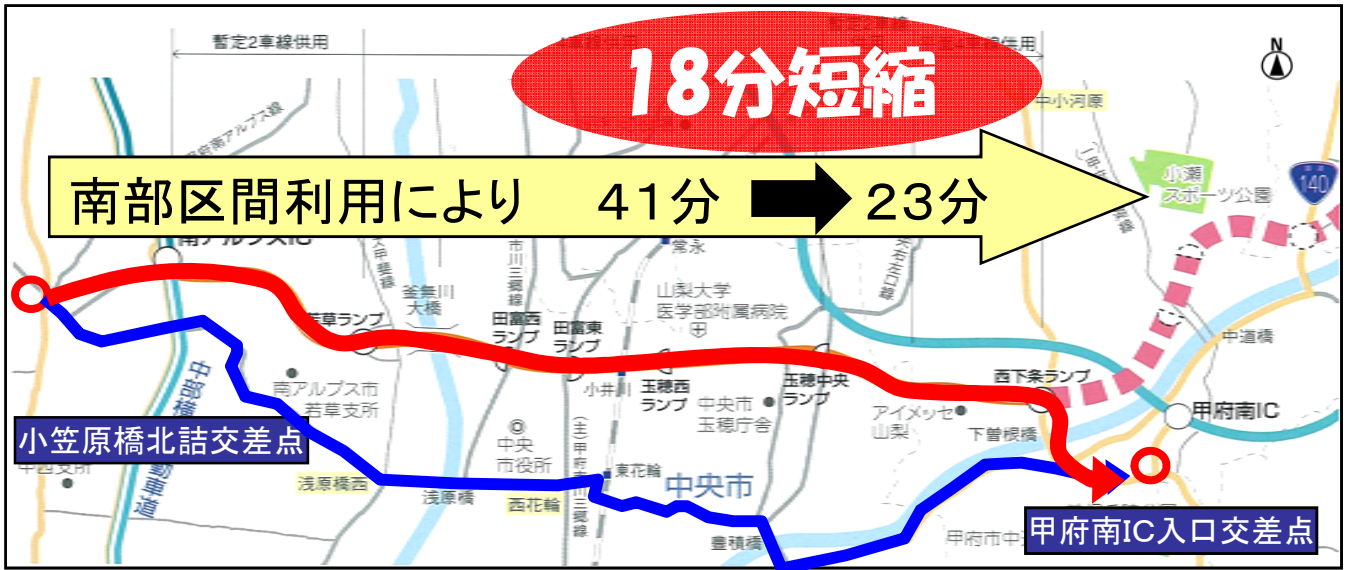
全線開通



～新山梨環状道路南部区間の開通で現れた整備効果～

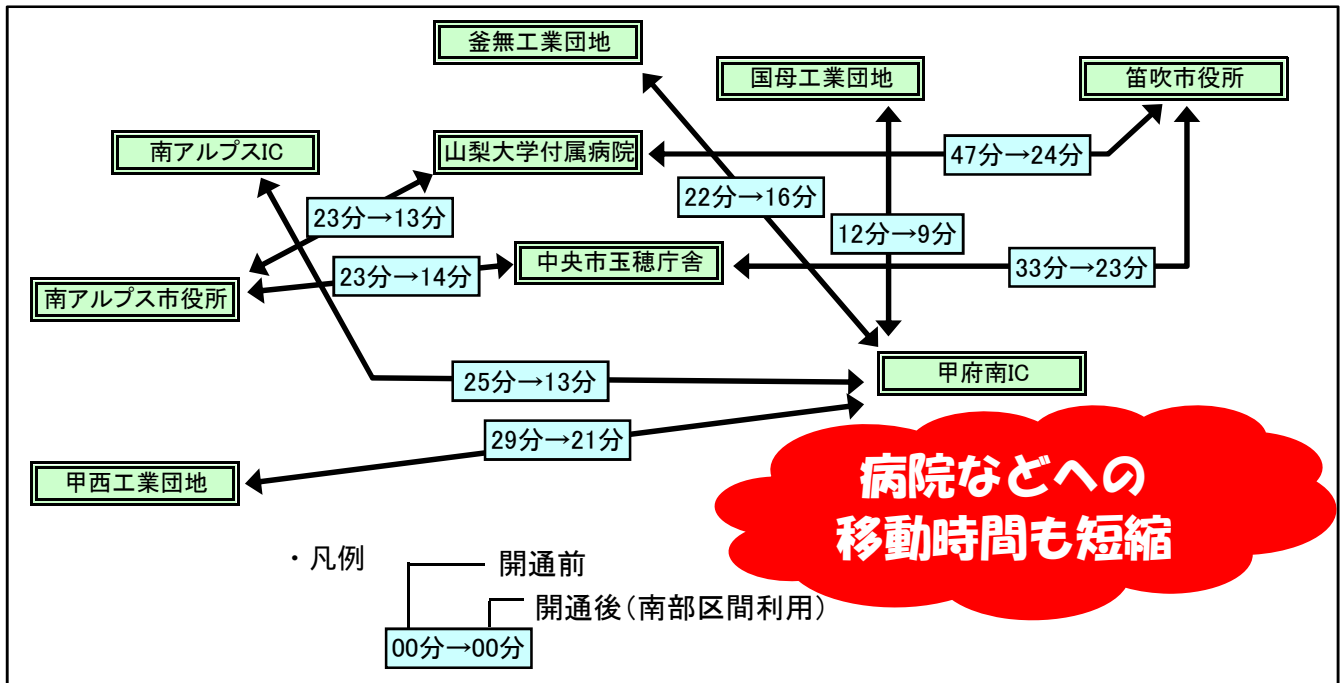
平成21年3月14日 南部区間が全線開通しました。

◎ 移動時間の短縮



- 南部区間を利用することにより、混雑時における南アルプス市と中央道甲府南IC間の移動時間が大幅に短縮しました。

開通前[→]は、H20.10.8(水)、開通後[→]はH21.5.19(火)に朝の混雑時に走行。



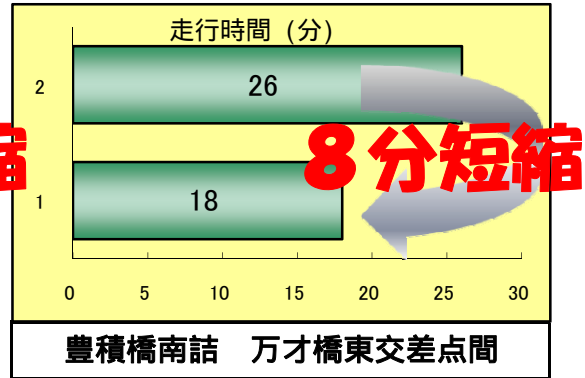
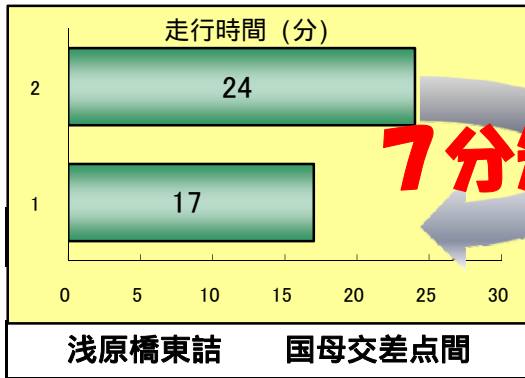
平常時の時間帯においても代表的な施設・インター間の移動時間が短縮しました。

開通前は平成21年2月12日(木)、開通後は平成21年6月1日(月)に測定。
時間は往路・復路の平均値

◎ 交通の分散

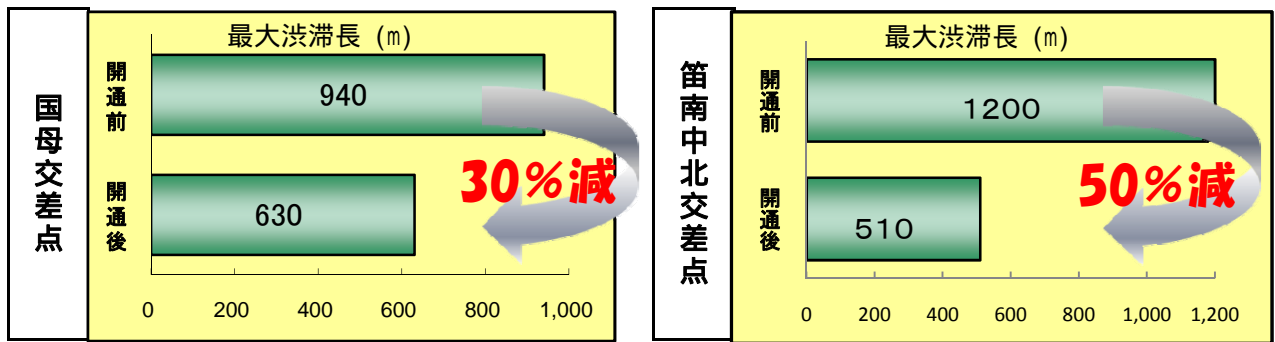


- 甲府都市圏の中心部と周辺部を結ぶ南北方向の幹線道路において、朝夕の混雑時における代表交差点間の走行時間が短縮しました。これは、甲府中心部に集中していた交通が南部区間の利用により分散されたものと考えられます。



開通前は平成20年10月8日(水)、開通後は平成21年5月19日(火)の混雑時に走行。
走行時間は、朝の7:00～10:00と夕方の16:00～19:00の6時間での最も混雑した時間帯のもの。

◎ 交差点での渋滞の緩和



- ・ 県道甲府市川三郷線で甲府市街に向かう国母交差点(甲府市)で、朝夕の混雑時における最大渋滞長が940mから630mに310mの短縮となりました。
- ・ 国道140号の笛南中北交差点(甲府市下曾根町)の中央市方面からの方向で、朝、夕の混雑時における最大渋滞長が1,200mから510mに半減しました。

「笛南中北」交差点の朝の状況

開通前



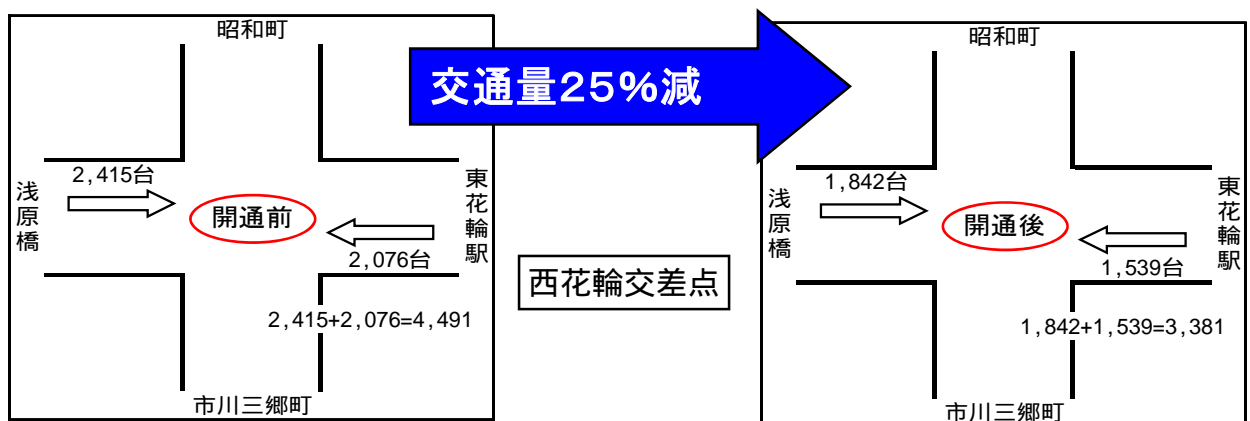
平成20年10月8日(水)8時11分

開通後



平成21年5月19日(火)8時11分

- 中央市の西花輪交差点において、東西方向からの交通量が開通前(4,491台)から開通後(3,381台)となり、1,110台(25%)の減少となりました。これにより交差点での混雑が緩和しています。



開通前は平成20年10月8日(水)、開通後は平成21年5月19日(火)に測定。
測定時間帯は、朝(7:00~10:00)と夕(16:00~19:00)の6時間計である。